

平成 29 年度札幌市アイヌ施策について

札幌市

目 次

施策目標 1：市民理解の促進	1
推進施策（1）：伝統文化の啓発活動の推進	1
①アイヌ文化体験講座の実施	1
②アイヌ文化交流センターイベントの実施	1
③アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施	1
④小中高校生団体体験プログラムの実施	1
⑤小中高校生団体出前体験プログラムの実施	1
⑥公共空間を利用した情報発信	1
⑦市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作	2
⑧シーニックバイウェイ推進事業（南区市民部）	2
⑨インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援	2
⑩札幌アイヌ協会への補助	2
⑪アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）	2
⑫“イランカラナテ”キャンペーンの推進	2
⑬アイヌ文化を発信する空間の整備 （まちづくり政策局都心まちづくり推進室、市民文化局市民生活部、交通局）	3
⑭第 43 回「将棋の日」in 札幌 公開対局イベントアトラクション （教育委員会生涯学習部）	3
（関連事業①）札幌芸術の森美術館展覧会 藤戸竹喜の世界展 （市民文化局文化部（公益財団法人札幌市芸術文化財団 札幌芸術の森指定管理事業））	3
推進施策（2）：教育等による市民理解の促進	3
①新任課長職への研修の実施	3
②新採用職員への研修の実施（総務局自治研修センター）	3
③札幌市民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部）	4
④札幌市教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）	4
⑤札幌市研究開発事業（研究課題）「アイヌ民族に関する教育」（教育委員会学校教育部）	4
⑥人権教育推進事業（教育委員会学校教育部）	4
⑦「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」（環境局環境都市推進部）	4
（関連事業①）さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座 （教育委員会生涯学習部（公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター事業））	4
施策目標 2：伝統文化の保存・継承・振興	5
推進施策（1）：アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進	5
①埋蔵文化財センターでの出土資料の展示（市民文化局文化部）	5
推進施策（2）：伝統文化活動の推進	5
①札幌市アイヌ文化交流センターの運営	5

②イベントの実施（再掲）（市民文化局市民生活部ほか）	5
③札幌地域イオル事業の受託及び実施	5
施策目標3：生活関連施策の推進	6
推進施策（1）：産業振興等の推進	6
①民工芸品振興等可能性調査等業務の実施	6
推進施策（2）：生活環境等の整備	6
①住宅新築資金等の貸付	6
②アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置 （市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）	6
③アイヌ民族の児童・生徒の学習支援	6

※本書に掲載している予算額は、市民文化局市民生活部に関連する予算額です。

平成 29 年度札幌市アイヌ施策について

施策目標 1 : 市民理解の促進

推進施策 (1) : 伝統文化の啓発活動の推進

(予算額 H28 104,200 千円、H29 132,307 千円)

① アイヌ文化体験講座の実施

手芸、工芸、エコツアー等の体験講座等を実施する。

開催場所：アイヌ文化交流センター・区民センター・北海道大学他

開催（予定）回数：18 回

② アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ・刺繍等製作体験、昔遊び等を実施する。

開催回数：6 回 参加者：1,212 人 ※今年度分終了

③ アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施する。

開催回数：1 回（平成 29 年 6 月 18 日（日）） 参加者：171 人 ※今年度分終了

④ 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来所した小中高校生に対し伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を行う。

※参加校数は、65 校（上限）。

⑤ 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

遠隔地である等の理由により、アイヌ文化交流センター来所できない小中高学校に出向き、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露等、アイヌ伝統文化を体験できるプログラムの提供を行う。

※実施校数は、30 校（上限）。

⑥ 公共空間を利用した情報発信

さっぽろ夏まつりや、さっぽろ雪まつりなどの大規模イベントと連携しながら、アイヌ伝統楽器の演奏披露や文化体験等を行う。

さっぽろ雪まつりでは、札幌駅地下歩行空間で実施される「チ・カ・ホイイベント」に出展し、工芸品の販売を行う。また、昨年度に引き続き、先住民族であるアイヌ民族に

対する市民理解の促進を目的として、アイヌモニュメント（タペストリー）をJRタワー1階西コンコース及び札幌市役所本庁舎に継続して設置している。

⑦ 市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作

市民がアイヌ文化に身近に触れられる機会を創出するため、公募した市民がアイヌの指導を受けながらアイヌアートモニュメントを制作し、多くの方が利用する場所に設置する。

⑧ シーニックバイウェイ推進事業（南区市民部）

区内の各種団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップとPRなどを行っている「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議」の活動支援として、スタンプラリーやPRパンフレット等の配布を行う。

※アイヌ文化交流センターは、代表者会議の構成メンバーとして参加。

⑨ インカルッペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援

札幌アイヌ協会が開催するアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史・人権等に関するパネル展示について補助を行う。

⑩ 札幌アイヌ協会への補助

アイヌ民族の歴史や文化に対する市民理解を促進するため、アイヌ文化の保存・伝承、各種学習会等の実施にかかる費用補助を行う。

⑪ アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）

豊平川河川敷（南7条大橋上流左岸）において、アイヌ民族の伝統文化であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）を再現することにより、広く市民に理解の輪を広げるとともに、その文化を保存・継承する取組を支援する。

開催日：平成29年9月10日（日） 参加者：約200人

⑫ “イランカラッテ”キャンペーンの推進

「北海道のおもてなし」のキーワードとして国が進める「“イランカラッテ”（こんにちは）キャンペーン」を共同で推進するため、協議会に参加するとともに、札幌市として可能なPR活動を行う。

※フラワーカーペット2017（6月22日（木）～25日（日））において、メインカーペットが札幌アイヌ協会監修のもとデザインされた「カムイの



大地～nonno-pirka」であったため、このイベントに合わせて北海道、内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、北海道アイヌ協会と協力し、キャンペーン啓発活動を実施した。



⑬ アイヌ文化を発信する空間の整備

平成 28 年度に策定した整備構想及び基本設計書に基づき、空間整備に向けた実施設計やメインシアター枠の設置を行い、加えて展示物や映像コンテンツ等の具体的な検討を進めていく。

⑭ 第 43 回「将棋の日」in 札幌 公開対局イベントアトラクション(教育委員会生涯学習部)

日本将棋連盟では、将棋の普及事業として昭和 50 年から全国の地方自治体等との共催により、毎年 1 回「将棋の日」と題した普及イベントを開催しており、平成 29 年度は札幌で開催した(11 月 5 日(日))。公開対局イベントのオープニングアトラクションとして、札幌アイヌ協会の協力によりアイヌ古式舞踊を披露した。

(関連事業①) 札幌芸術の森美術館展覧会 藤戸竹喜の世界展(市民文化局文化部(公益財団法人札幌市芸術文化財団 札幌芸術の森指定管理事業))

北海道を代表する木彫家として、またアイヌ民族の彫技を伝える芸術家として国内外から高い評価を得ている藤戸竹喜氏(1934～)の 50 年以上にわたる創作活動の軌跡を振り返る展示(関連資料を含め約 120 点)を、札幌芸術の森美術館において開催している(10 月 14 日(土)～12 月 17 日(日))。

推進施策(2) : 教育等による市民理解の促進

(予算額 H28 126 千円、H29 126 千円)

【市職員向け】

① 新任課長職への研修の実施

新任課長職を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現況、国の動向等について研修を行う。※開催日：11 月 22 日(水) 開催場所：アイヌ文化交流センター

② 新採用職員への研修の実施(総務局自治研修センター)

新採用職員研修において、アイヌ民族の歴史や人権に関する研修を行った。
※開催日時：4 月 6 日(木)～7 日(金) 参加者：439 人

【教職員・子ども向け】

③ 札幌市民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部）

アイヌ民族の歴史・文化等に関する指導事例について交流を深めるとともに、学校教育におけるアイヌ民族に関する教育の在り方について意見交流を行うことにより、学校におけるアイヌ民族に関する教育及び人権教育の推進を図る。

※開催日：8月25日（金） 参加者：26人 開催場所：アイヌ文化交流センター

④ 札幌市教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

初任教諭や中堅教諭等を主な対象として、アイヌ文化や民族教育に係る研修を行う。

⑤ 札幌市研究開発事業（研究課題）「アイヌ民族に関する教育」（教育委員会学校教育部）

アイヌ民族に関する教育推進の諸課題を踏まえた教材の開発や指導方法の工夫等、実践的な調査研究を行うことを通じて、アイヌ民族に関する教育の普及・啓発を図る。また、幼稚園・学校への民具の貸出しを積極的に行う。

⑥ 人権教育推進事業（教育委員会学校教育部）

学校外の人材などを活用した、子どもにとってより実感を伴う学習活動の在り方や有効性、実施上の課題等について検討し、その成果についての普及・啓発を図ることで、人権教育をより一層推進するための事業を実施する。

また、アイヌ文化交流センターの活用や、小中学校におけるアイヌ文化や人権等に関する体験的な学習の在り方について研究を進める。

そのほか、教諭向けに実施する「人権教育フォーラム」において、「アイヌ民族に関する教育」について、実践発表等を行う。

【市民向け】

⑦ 「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」（環境局環境都市推進部）

市内における生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的に、平成28年度に引き続き、アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置付け、アイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を通じて、市民の生物多様性に対する理解の促進を図る。

（関連事業①）さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部（公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター指定管理事業））

市立札幌大通高校で開講している、さっぽろ市民カレッジ学社融合講座にてアイヌ文化に関する講座を開催する。

※開催日：10月11日（水）～11月22日（水）毎週水曜日開催（全7回）

参加者：一般受講生8名、高校生11名

施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興

推進施策 (1) : アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

①埋蔵文化財センターでの出土資料の展示 (市民文化局文化部)

推進施策 (2) : 伝統文化活動の推進

(予算額 H28 57,773 千円、H29 61,800 千円)

① 札幌市アイヌ文化交流センターの運営

- i) 展示室等の運営
- ii) 啓発事業
(再掲)
 - ・アイヌ文化体験講座
 - ・アイヌ文化交流センターイベント
 - ・アイヌ民族古式舞踊 (輪踊り)
 - ・小中高校生団体体験プログラム
 - ・小中高校生団体出前体験プログラム

② イベントの実施

- (再掲)
 - ・インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援
 - ・公共空間を利用した情報発信
 - さっぽろ夏まつりふるさと応援 PR ステージイベントの実施
 - さっぽろ雪まつりチ・カ・ホイベントの実施
 - アイヌ文様タペストリーの設置 (地下歩行空間、JR タワー 1 階西コンコース、札幌市役所 1 階ロビー)
 - ・アシリチェプノミ保存伝承事業補助 (市民文化局文化部)

③ 札幌地域イオル事業の受託及び実施

アイヌの伝統的文化活動を行う際に必要となる自然素材の穀物や野草等の植栽・育成を進める。また、札幌市アイヌ文化交流センターや関連施設を利用して、アイヌ文化を体験する講座等を開催するほか、文化の普及啓発を目的として伝統舞踊の披露を行う。

- 伝統料理調理体験事業 (28 年度まで 2 回 ⇒4 回)
- 民具づくり体験事業 (2 回)
- 子ども遊び体験事業 (2 回)
- 伝統古式舞踊の披露 (29 年度新規。9 月 8 日 (土) に「さっぽろオータムフェスト 6 丁目会場野外ステージ」にて実施済み)

施策目標 3 : 生活関連施策の推進

推進施策 (1) : 産業振興等の推進

(予算額 新規 H29 2,500 千円)

① 民工芸品振興等可能性調査等業務の実施

平成 29 年度から 3 か年かけて、常設店舗設置の可能性を把握するために調査や試行販売等を実施する。平成 29 年度は、アイヌ民工芸品のマーケティングのために、民工芸品の制作者及び海外、道外の観光客へのヒアリングや試行販売を実施する。

将来的に常設店舗を設置した場合に店舗の維持・周知に資すると期待されるアイヌ料理の提供方法等についても調査し、展示販売と一体的に提供した場合の相乗効果等について検証する。

推進施策 (2) : 生活環境等の整備

(予算額 H28 46,761 千円、H29 46,824 千円)

① 住宅新築資金等の貸付

アイヌの居住環境整備改善のため、住宅の新築、改修及び宅地の取得資金貸付けを行う。

② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置 (市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部)

アイヌ生活相談員 (2 人)・教育相談員 (1 人) を配置し、各種相談に対応する。

③ アイヌ民族の児童・生徒の学習支援

教育関係者やボランティア等の協力を得ながら、アイヌの児童・生徒を対象とする夏季・冬季学習会を開催する。

※夏季開催日 : 8 月 7 日 (月) ~ 12 日 (土) のうち 5 日間

開催場所 : 中央区民センター

参加者数 : 延べ 24 人

その他の予算

(予算額 H28 21,525 千円、H29 11,502 千円)

【主な項目】

・共同利用館運営費、事務費 (職員人件費)、アイヌ施策推進委員会経費、住宅貸付滞納整理経費等